

第45回宮城県民体育大会バスケットボールジュニアの部 兼 第53回全国ミニバスケットボール大会宮城県予選 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

1 大会開催における基本的な考え

参加者が安全に安心して大会に参加できるよう、宮城県及び日本スポーツ協会ならびに日本バスケットボール協会の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに基づき大会を実施する。

2 大会開催の条件

- (1) 宮城県において、緊急事態宣言が発令されていないこと。
- (2) 通常の教育活動が行われていること。
- (3) 日本バスケットボール協会及び利用する施設を管理する自治体（指定管理者）が示す新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを遵守し、大会運営が行えること。
- (4) 大会関係者及び参加者（選手・指導者・保護者等）が事前に宮城県及び市町村が示す新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインを十分に理解していること。

※条件が整わない場合は、関係者と協議し、宮城県バスケットボール協会（以下、県バ協）において大会中止の判断を行う。

3 大会参加チームの対応：代表指導者・保護者会代表者

代表指導者は、日常的に選手の体調管理や活動状況を把握するとともに、大会当日も無理のない大会参加に努めること。本ガイドラインを遵守できない場合は、試合を没収するなどの措置をとることがある。

①大会申込時に代表指導者が対応すべき事項

- 参加選手の活動状況を把握すること。
(継続的な活動が行えていない場合は、参加を見合わせること)。
- 新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインの周知と保護者からの大会参加の同意を得ること。

②大会当日に確認すべき事項

- 参加選手・指導者・保護者の体調確認
大会開催2週間以内に以下の症状がある場合は、大会に参加できない。
①平熱を超える発熱（概ね37.5℃以上）

- ②だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ③臭覚や味覚の異常
- ④体が重く感じる、疲れやすい等
- ⑤新型コロナウイルス感染症と診断された人との濃厚接触が認められる場合
- ⑥同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
- ⑦大会参加日前の14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航又は当該在住者と濃厚接触が認められる場合

③大会当日の選手の健康管理

こまめな手洗い、自チーム持参によるアルコール等による手指消毒を行うこと。また、体育館での過ごし方について適宜指導・管理を行うこと。

④大会当日の提出書類

代表指導者は、参加選手・指導者・保護者の体調を管理し、以下の内容が記載された名簿を受付に提出すること。

【提出書類】（指定様式）

- 大会参加に係る同意書（様式1号）
- 参加者名簿（選手・指導者・保護者）（様式2号）

⑤大会終了後

- 代表指導者は、大会終了後に主催者との連絡がとれるよう配慮すること。
 - 大会終了後の参加者の体調を管理し、発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などを発症した場合は、速やかにかかりつけ医療機関又は宮城県指定のコールセンター及び主催者に連絡すること。
- 対応については、6ページの「新型コロナウイルス感染症対応フロー」を確認すること。

4 大会参加チームの対応：参加選手及び保護者

①試合中の配慮事項

- 本ガイドラインの遵守に努めること。
- 感染拡大防止を考慮し、引率・応援は最小限の人数で対応するよう努めること。
- 試合中に、唾や痰をはくことは極力行わないようにすること。
- タオルや飲料水の共用はしないこと。
- 飲食については、指定場所のみで行い、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにすること。
- 大声での声援は控え、拍手のみで応援すること。
- 通路等の場所取りや保護者同士のお茶のみ等を控えること。
- 感染拡大防止のため主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- 他の参加者等との距離を確保するよう努めること。
- マスクを持参し、競技を行っていない時や会話をする際は、マスクを着用すること。

5 大会開催に向けての対応：主催者

①大会参加募集時の対応

大会開催にあたり、感染拡大防止のため参加者が遵守すべき事項を明確にし、大会要項等により参加予定チームに事前に周知する。本ガイドラインを遵守できないチームに対しては、試合を没収するなどの措置をとることも検討する。

【大会参加の条件】

- ▶ 参加チームに体調不良者（発熱・咳・咽頭痛などの症状を持つ者）がいないこと。
- ▶ チーム関係者の同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいないこと。
- ▶ 大会参加日の前の14日以内に政府から入国制限、入国後の健康観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航又は当該在住者と濃厚接触がないこと。
- ▶ 大会前において、通常練習が継続的に行われていること。

【大会参加時の留意事項】

- ▶ マスクを持参し、競技を行っていない時や会話をする際は、着用すること。
- ▶ 他の参加者等との距離を1m以上確保するよう努めること。
- ▶ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をおこなうこと。
- ▶ 大会開催中は大きな声での会話、応援等は控えること。
- ▶ 通路等の場所取りや保護者同士のお茶飲み等を控えること。
- ▶ 主催者が決めた感染拡大防止のための措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。

【大会当日の提出書類】

新型コロナウイルス感染者が発生した場合に備え、参加者より次の書類の提出を求める。
(参加チームの提出書類)

- 大会参加同意書（様式1号）
- 参加同意一覧表（選手・指導者・保護者）（様式2号）
(運営者側の提出書類)
- 大会役員（スタッフ）名簿（様式3号）

※提出された名簿は、県バ協にて保管し、大会終了1カ月後にシュレッダーにて破棄する。

②施設の利用条件の確認

施設管理者と打ち合わせを行い、利用条件等の確認を行う。

6 大会当日の対応：主催者

【準備・確認すべき事項】

①手洗い場及びトイレの確認

- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること。
- 「手洗いは30秒以上時間をかけること」等の掲示をすること。
- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる箇所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）

については、こまめに消毒すること。

- ❑ 洋式トイレ使用後は蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること。（施設管理者に確認）
- ❑ 手洗いに手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意することも考えられる。（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。共用の布タオルや温風乾燥器については使用しないこと。）
- ❑ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。（アルコール等の消毒剤は、可能な限り県バ協で準備する。）

②更衣室・休憩・待機スペース

- ❑ スペースにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。（障害者の介助を行う場合を除く。）
- ❑ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者数を制限する等の措置を講じること。
- ❑ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる箇所（ドアノブ・ロッカーの取手・テーブル・椅子等）については、こまめに消毒すること。
- ❑ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。

③大会会場の管理

- ❑ 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。
- ❑ 換気設備を適切に運転すること。

④ごみの廃棄

- ❑ ゴミは、原則、各自で持ち帰りとする。
- ❑ やむを得ずゴミを回収する際は、マスクや手袋を着用し、ゴミをビニール袋に入れて密閉して縛ること。
- ❑ ゴミを回収した後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒をすること。

⑤受付時の対応

- ❑ 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ❑ 発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように表示する。可能であれば、入場者の体温を計測し、37.5℃以上の場合は入場を制限する。
- ❑ 人と人が対面する場所は、できればアクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること。難しい場合は、必要な距離をとること。
- ❑ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと。
- ❑ 受付担当には、マスクを着用させること。
- ❑ 受付は県バ協が指名した者が担当すること。
- ❑ 受付時の混雑を避けるため、チームごとの入場時間等を決めるなどの対応を行うこと。
- ❑ 参加料等の現金のやりとりはなるべく控えること。
- ❑ 入場場所を1カ所にするなど、不特定多数が来場しないように工夫すること。

⑥各種ミーティング等

- ❑ 三つの密を避けておこなうこと。

- 会話時にマスクを着用するなどの感染防止のために十分配慮すること。
- 参加チーム（指導者・選手・保護者）に対し、本ガイドラインを徹底するよう指導すること。
- 新型コロナウイルス感染症防止の留意事項を説明すること。

⑦開・閉会式

- 参加者が一堂に介して行う開会式は開催せず、閉会式は最小限の人数で開催する。
- 閉会式を行う場合には、参加者にマスクを着用させ、選手・役員の距離を1 m以上確保するよう努めること。
- 閉会式で表彰伝達を行う際は、マスク・手袋を着用のうえ簡素化して行うこと。

⑧競技中の留意事項

- ウォームアップや試合の最中に、唾や痰をはいたりしないように指導すること。
- タオルや飲料水は共用しないように指導すること。
- 飲食については、指定場所のみで行い、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにするよう指導すること。
- 大声での声援は控え、拍手のみの応援とすること。
- 場内アナウンスで、新型コロナウイルス感染症防止関連の留意事項を放送すること。

【 連絡先 】

■宮城県健康電話相談口（コールセンター）

電話番号：022-211-3883 / 022-211-2882

受付時間：24 時間対応

■主催者

公益財団法人 宮城県スポーツ協会

〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館 40-1

宮城県総合運動公園内

電話番号：022-356-1125 FAX 番号：022-356-8267

Mail grande21@mspf.jp

一般社団法人 宮城県バスケットボール協会

〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3 丁目 10-34

コーポすず 203 号

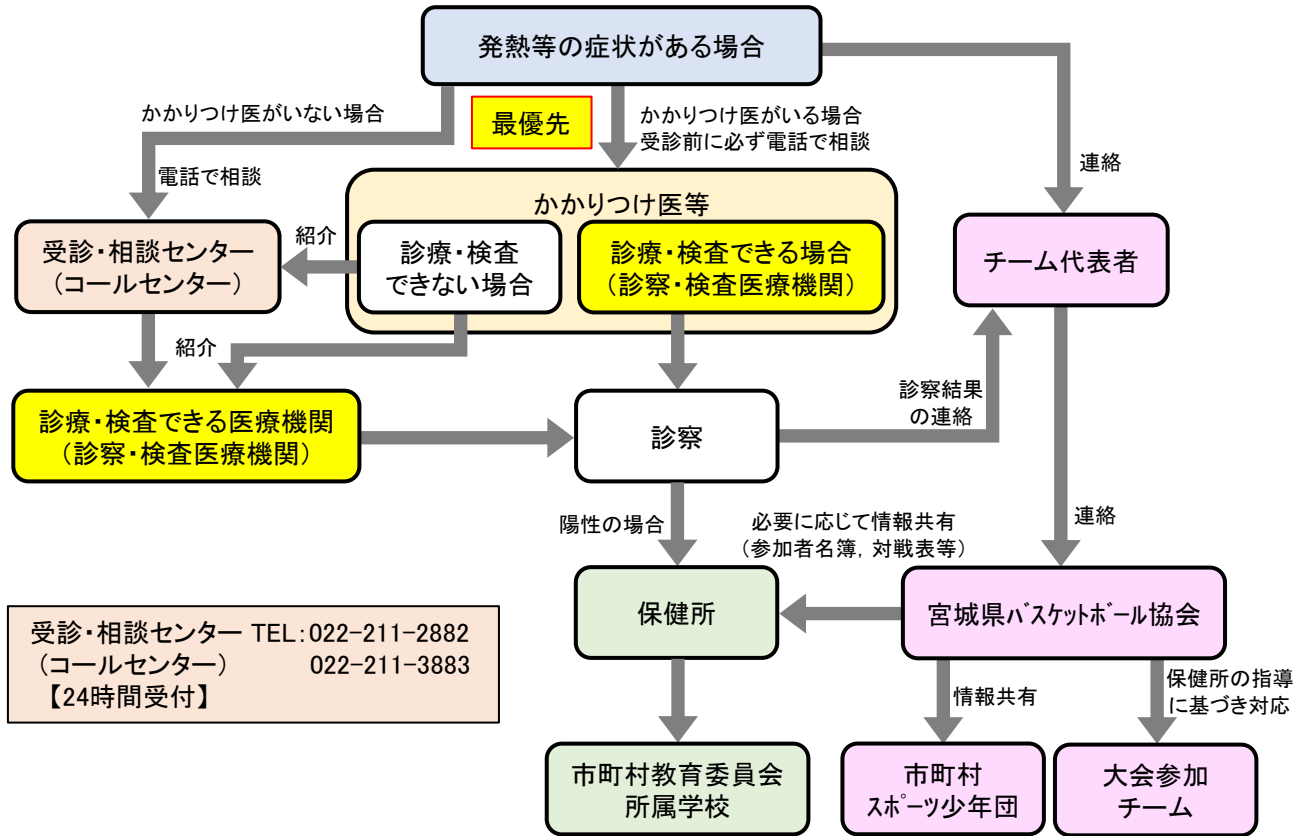
電話番号：022-214-4171 FAX 番号：022-399-8927

Mail miyagi.basket@gmail.com

■新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の利用にご協力願います。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

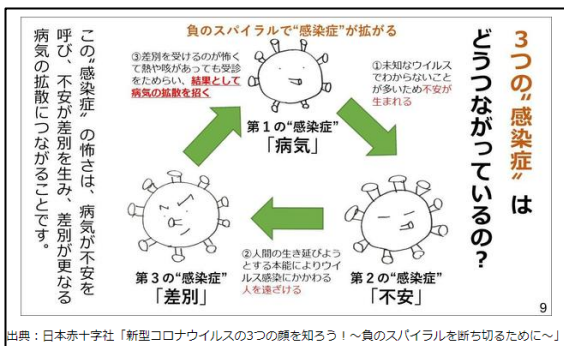
新型コロナウイルス感染症対応フロー



(宮城県 HP : <https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/jyusin.html> に基づき作成)

留意事項

- 1 宮城県及び保健所の指導に基づく対応とする。
- 2 感染者の風評被害を防止するため、感染者が特定されないように配慮する。



日本赤十字社ホームページより
http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html